

♪まちの話題



市民の手作り舞台盛況に さくらホール市民劇上演

第32回北上市民劇場・さくらホール市民劇「地蔵横丁ものがたり～白百合と赤いちゃんちゃんこ～」は3月28日、同ホールで上演されました。

市民劇場は昨年からワークショップ形式で進められ、新しく「さくらホール市民劇」として立ち上りました。舞台にかかる人材の育成に力を入れ、より魅力ある舞台作りを市民が中心となって進めています。

今回の作品は市民劇場初の現代劇。小さな町の喫茶店「白百合」を中心物語は繰り広げられ、会場は感動に包まれていました。

黄色い羽根配り交通安全 春の交通安全運動を実施

交通安全「黄色い羽根街頭配布ルート4・人垣作戦」は6日、国道4号相去パーキング付近で行われました。交通安全意識の高揚と多発する交通事故に歯止めをかけることを目的に、市、市交通安全対策協議会などの関係団体が参加しました。

会場には看板やのぼり旗を設置し、交通安全運動の実施をPR。ドライバーに黄色い羽根やパンフレットなどを手渡したほか、市交通指導員らがプラカードを持って道路沿いに並び、通行する車両へ交通安全を呼びかけました。



ざせん草の里がにぎわう 藤根ざせん草まつり開催

藤根自治振興会主催のざせん草まつりは3月21日、和賀町藤根のざせん草の里周辺で開催されました。

メイン会場ではざせん草が群生し、家族連れなどがゆっくりと見入っていたほか、カメラに収める人の姿も多く見られました。また、ひつみの無料配布や地元産品の販売、岩大付属寒冷バイオフロンティア研究センターの伊藤菊一教授による講演も行われました。

仲間とウォーキングをしながら訪れた谷地村武征さん(和賀町横川目)は「会場も随分きれいに整備されている」とまつりを楽しんでいました。



環境づくりに参加しよう 市快適環境づくり懇話会

北上市快適環境づくり懇話会の設立集会と研修会は3月29日、日本現代詩歌文学館で開かれました。市と同懇話会準備会(柏葉省一郎会長)が主催したもので、すべての人が連携して環境づくりに取り組むまちを目指しています。

集会では、快適な環境づくりに向け、住民・企業・行政が互いに理解を深め、協力してよりよい地域環境づくりを進めることができることが確認されました。また、東北大大学院経済学研究科の大滝精一教授による基調講演などが行われ、参加者は理解を示していました。

百歳になられおめでとう

齋藤トクエさん

飯豊にお住まいの齋藤トクエさんが百歳を迎える15日、自宅に伊藤市長が訪問して祝い状と記念品を贈りました。

齋藤さんは明治42年4月15日生まれ。19歳で故善九郎さんと結婚し、子ども6人をもうけました。農業に励み、踊りや民謡などの歌を趣味としていました。

現在は孫12人、ひ孫19人、やしゃご6人に恵まれています。長女の池田千代さん(花巻市)は「家族に大事にされてきたから元気でいるのでしょうか」と、用意した花を手渡していました。



親水路の復活を目指して

広瀬川せせらぎ緑道完成

広瀬川せせらぎ緑道完成記念オープニングイベント(同イベント実行委員会主催、市・北上商工会議所共催)は18日、同会場で行われました。万世橋付近の雨水幹線地中化整備に伴い、市民と市が協働で計画を進めてきました。新しく生まれ変わった緑道には、ベンチや噴水などが備え付けられています。

昭代橋でのテープカット、関係者による歩き初めの後、ミューズコーラス隊などの催しが各会場で行われました。また、青柳町飲食店の協力により屋台村が設置され、緑道はにぎわいを見せっていました。



清水コマツさん



和賀町堅川目にお住まいの清水コマツさんが百歳を迎える2日、自宅に伊藤市長が訪問して祝い状と記念品を贈りました。

清水さんは明治42年4月1日生まれ。18歳で故清さんと結婚し、子ども7人をもうけました。20歳で北海道札幌市などに移住し、30歳で帰郷しました。

現在は孫14人、ひ孫16人に恵まれ、親子4代8人暮らし。3食きっちり食べ、風邪を何年も引いていないそうです。お風呂が好きで、週2回のデイサービスを楽しみにしています。



小金井桜がつなげる友情

飯豊中と小金井市の南中

飯豊中学校の3学年126人は15日、修学旅行で東京都小金井市立南中学校(伊東威校長・生徒377人)を訪問し、交流会を行いました。

小金井市は、名勝小金井桜を通じて北上市と交流のあるまち。昨年のみちのく芸能まつりには、小金井市から目黒流貫井囃子を招いています。これが縁で、飯豊中生と小金井市の中学生との交流の場が設けられました。

交流会では、北上夜曲などの合唱と鬼剣舞を披露したほか、生徒手作りの鬼剣舞面を贈呈しました。